

第一回 社会福祉法人神戸光の村 地域連携推進会議議事録

I.開催年月日：令和8年1月26日（月）

13時30分～15時30分

II.開催場所：神戸光の村授産学園 地域交流室

III.参加者名

地域代表1名

福祉知見者代表 障害者支援施設長 1名

神戸市職員2名

保護者代表1名

利用者代表2名

社会福祉法人神戸光の村理事長

社会福祉法人神戸光の村職員3名

開会（13時30分）

1.参加者紹介

各参加者が自己紹介を行った。

2.施設見学

職員案内のもと各作業場や生活棟に移動する。

紙器作業場内、煎餅工場内、クッキー工場内、農耕作業場内を各作業場職員より作業内容説明があり、作業を見学する。

生活棟内食堂、浴室、居室をまわり職員より説明があり、見学する。

3.会議

議長は理事長より、福祉知見者代表を選任、全出席者異議なく会議に入った。

(1) 学園紹介・報告

① 学園概要

理事長より学園の概要が下記の通り説明なされた。

学校法人光の村学園光の村土佐自然学園に阪神間の利用者様も多く通っておられ、卒業後の進路として平成14年4月に設立された。当時は西谷英雄施設長、私は平成19年4月より着任した。平成27年に土佐の法人と神戸の法人を分割、無償譲渡を行い、現在の社会福祉法人神戸光の村として成立した。当初は就労支援事業B型10人、生活介護20人、施設入所支援30人でサービスを開始したが、現在は生活介護30人、施設入所支援30人、短期入所6人のサービスを提供していると説明がなされた。

経営状況の報告

理事長より令和 6 年度決算書をもとに借入金がないこと説明がなされた。ホームページにも決算書を掲載しています。

全体でのレクリエーションは施設経費、個人でのレクリエーションは個人負担で行っています。現在の職員は常勤職員 17 名と長期入院の職員 1 名、産休中の職員 1 名、非常勤職員 15 名で運営しています。

建物の修繕改修工事費が増していることの説明がなされた。

議長により、参加者に質疑等の意見がないかを求めたところ、意見がなかった。

(2) 地域からの苦情（要望）と対策

理事長より、木津地区内の住民より通勤時における車のスピードが速い件で苦情の手紙があり、職員一同情報共有の上、木津地区内の車のスピード抑制、木津地区内通勤時は外周を通ることを指導・改善を行っていることの報告がなされた。スピードの件については当事者の職員より申告があったことも報告がなされた。

令和 6 年 10 月、トイレから衣類等が流れてしまい、農業集落排水のポンプにつまっている等の被害・苦情を受けた。(神戸市建設局 中央水環境センター【北下水道係】) 状況を確認し、対策として学園内の便槽に網を張り、衣類等が流れていかないようにしており、現状、早番の職員が毎日の便槽チェックで衣類等を見つけ、回収していることの報告がなされた。

議長により、質疑等の意見がないかを求めたところ、下記の通り質疑があった。

神戸市職員

過去 5 年においても交通関係、排水関係など報告にあった事案が多いですか。

理事長

排水の件、建設局からの苦情は数回あり一番多い苦情です。

保護者代表

排水のポンプにつまっているものは、園から流れたものと限定されていますか。

理事長

利用者の名前が書いてある衣類ですので、確実に当施設利用者の衣類です。

福祉知見者

私の施設でも、同じような事案があり、本日も靴下が流れてポンプがつまるケースがあり、利用者の名前が書いてある靴下です。当施設の場合はポンプアップを施設内で行うための設備があるので、施設内で完結しています。

理事長

木津地区の住民の方も困っているので、対策をしっかり講じるよう言われていますので、毎日のチェックを徹底していきます。

(3) 地域・学園行事のご案内

職員よりホームページの行事写真をモニターにうつし、資料に基づき説明がなされた。

議長より利用者代表の2人に1年間の行事で楽しいことを教えてくださいと意見を求めた。

利用者代表

僕は丸優バザーが良かったです。久しぶりに太鼓演奏をできたので、良かったです。

職員

今までも近隣の介護老人施設などで演奏を披露することがありましたが、コロナ禍で披露する機会がなくなりました。

職員より、ホームページの丸優バザー太鼓演奏の動画をモニターにうつす

職員

株式会社丸優というお肉屋さんでミートフェスティバルというイベントに楽しく参加させていただきました。

地域代表

町のまつりでも太鼓演奏を披露してもらったこともあり、良かったです。

利用者代表

私は今文化祭の作品をがんばって作っています。今度の文化祭で提出する予定です。

職員

毎年文化祭の作品作りは実際に行うことが多いので、1年とおして作品準備ができていたらということで、さしこやマスコット人形作りに取り組んでいます。

(4) 健康診断、通院・訪問診療件数

職員より資料に基づき説明がなされた。

理事長より、精神科嘱託医が毎週水曜日の午前中に来園され各作業場にまわり利用者の様子を見たり、コース立方体組み合わせテストなどを用いてIQテストを行ったりしていること、言葉のコミュニケーションが難しい方がIQ100を超える利用者2名いることの報告がなされた。

参加者に質疑等の意見がないかを求めたところ、下記の通り質疑があった。

神戸市職員

医療などの体制がしっかり整っていると思いました。その上での質問ですが、皮膚科への受診件数が多いが、アトピーなどの元からの皮膚疾患関係での受診件数の多さなのか、作業をした際の皮膚疾患なのかを教えてください。

職員

元からのアトピー体質やアレルギー体質の方が定期的に通院されている分と、水虫の利用者様の通院で件数が多くなっております。

神戸市職員

もともとの皮膚疾患の方が多いのですね、ありがとうございました。

神戸市職員

精神科のお薬を飲まれている方は入所者のうち、だいたいどれくらいの方が飲まれていますか。

理事長

てんかんをもっている方は白坂クリニックで診察をしてから入所することを決めております。

職員

薬を嫌がる利用者様もおられますので、必要だが、服用されていない方もおられます。

理事長

薬を飲ませたくないと言われる保護者が入所を希望されるケースもあります。

福祉知見者

私の施設でも 3 分の 2 は服薬しています。ただ、皮膚疾患の薬を合わせるとほぼ利用者全員がなんらかの薬を服用しています。てんかん、抗精神薬、内科疾患、眼前の薬、臨時のアレルギーの薬です。アレルギーがひどい方は注射しています。

看護師確認の上、

職員

30 人中 12 人の方が抗精神薬を服用しています。

職員

てんかんの薬や皮膚疾患の薬などすべての薬を含めると 3 分の 2 以上の利用者様は服用されています。

(5) BCP（事業継続計画）の策定状況報告

職員より資料に基づき説明がなされた。

議長により質疑等の意見がないかを求めたところ、下記の通り質疑があった。

保護者代表

建物設備老朽化が進んでいくに伴い、畳からフローリングに随時変更なども行っていますが、具体的な入れ替えにむけての計画などあれば教えていただきたいです。

理事長

入所施設の個室化は避けて通れないと考えています。改修するより建て替えた方がよいのかと考えております。お風呂の介助用など修繕積立などは毎年考えております。

現段階では建て替えは 10 億円ぐらいかかるのではないかと考えています。

保護者代表

建物自体はしっかりした建物と思います。

理事長

建築物定期調査は 3 年に 1 回神戸市に報告しています。

当施設の基礎はフロート式になっていると建築士に言われています。

保護者代表

お風呂はよりよいものがあり、時代とともに改修時期になっている、せまっているのではないかと考えます。

職員

BCP 訓練の際、建物のひび割れなどを見回ることを行っており、今後とも安全に留意しています。

理事長

災害伝言ダイヤル、利用者も保護者も周知していく必要があると考えます。

職員

災害の際、連絡先一覧は作成しており、こちらが落ち着いた後、利用者様を最優先に保護者・家族様に無事かどうかをお伝えでき、保護者様の状態も知るため確認できるようにしています。ただし、連絡先は電話での連絡ですので、災害伝言ダイヤルを保護者様にも周知しておけば、電話の使用ができない際の報告になるかと存じます。

理事長

施設側は利用者を守るために動けないこともあるので、ご家族の様子を確認方法を検討してまいります。

福祉知見者

私の施設でも訓練時、連絡先一覧を必ず職員が持ち出すようにしています。また緊急連絡先一覧は2か所3か所設置しており、それぞれの場所から必ず持ち出せるようにしています。場所を分けて保管し、1か所火災等が発生しても他の場所から連絡先一覧を持ち出すことで、ご家族との連絡がとれる体制にしております。

保護者代表

クラウドやサーバーを通じてどの場所からでも入れるようにする、これを伝言板のように使用、対策のとれたものから削除するなど、緊急時の対応をあらかじめ決めておくことが大切ですね。

(6) 虐待、身体拘束、事故報告、ヒヤリハット報告

職員より資料に基づき説明がなされた。

議長より下記の通り質疑があった。

情報共有、職員の朝礼などその都度、その場で起こったことを共有しているのでしょうか。

職員

夜間帯の出来事、日中帯にあった大きい出来事、などは夜勤者から朝礼で報告しており、シフト上朝礼に参加できない職員は朝礼の議事録、ヒヤリハット報告書のファイルに目を通すように徹底しております。

神戸市職員

ヒヤリハット報告書の件数が昨年度と比較して増えているのは、ヒヤリハットの事案自体が増えているというよりかは、報告する職員が増えたということでしょうか。

職員

そうですね、ヒヤリハットという知識が向上していくとともに、今まで支援の流れの中で過ぎていたものが、これも報告しておいた方がいいのではないかと気付きの部分が多くなっているかと考えます。

理事長

ヒヤリハットというのは、気付きと考えています。意識の低い職員は仕方がないと終わってしまうが、文章化して残しておくというスキルが必要になってくると考えます。

未然に防ぐためにも気づきの部分が必要になってくると考えます。

(7) 意見交流

議長

意見交換を含めて随時進めてまいりましたが、その他全体を通して皆様が確認したいことなどございましたら、お願いします。

地域代表

通院件数についてですが、歯科の通院件数が5月と10月が多いのはなぜか。

職員

訪問歯科という歯医者様に外部から来ていただいて検診を行っており、ほぼ利用者様全員を検診して頂いております。検診後に処置が必要な場合、虫歯や歯石取りなど利用者様がいましたら、再度処置を行う流れですので、利用者30名が検診と処置の2回受診するといった件数になっております。

神戸市職員

入所様の入所、退所の人数は1年間でだいたいどのくらいでしょうか。

理事長

過去5年で退所は5名、入所は5名です。

1名の退所は職員の首絞めなどの他害が続き、利用者様も精神科の薬を服薬していましたが、抑えがきかなかつたため、労災を使うケースが多く弁護士、医者との相談の上、退所していただくこととなりました。

利用者代表

お風呂の件で、我々も年とっていくので、ヨゼフさんも高齢者の方が多いと思いますが、大阪万博で人間洗濯機があって、老人ホームで3台購入したというニュースをみたのですが、それを購入すれば、先生たちの負担も減ると思います。

理事長

湯舟にゆっくりつかの方が良いと思いますが、検討させていただきます。

閉会の挨拶理事長

貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。本当にいろんなご意見をいただきまして、すごく良い時間だと思えました。いろんな意見を反映、勉強させていただきながら、運営してまいります。現在各部署にスマートフォンを購入し、ビデオ通話などを用いたことも考えております。ありがとうございました。

閉会 15時30分